

一般高齢者実態調査

問1 今後、あなたが希望する生活場所についてお尋ねします。
 あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- 1 現在の住居にずっと住み続けたい
- 2 買い物や通院に便利な市街地に住居を買って（借りて）移り住みたい
- 3 自然豊かで静かな環境の郊外に住居を買って（借りて）移り住みたい
- 4 家族や親族、兄弟姉妹のところへ移り住みたい
- 5 有料老人ホームへ移り住みたい
- 6 サービス付き高齢者向け住宅へ移り住みたい
- 7 共同居住型の住まい（グループリビング）へ移り住みたい
- 8 介護保険施設に入所したい
- 9 わからない

サービス付き高齢者向け住宅とは・・・

高齢者が日常生活を営むため必要な福祉サービスを提供する賃貸住宅です。

有料老人ホームとは・・・

養護老人ホーム等とは異なり、民間が主体となって、設置・経営し、食事その他日常生活の便宜を提供している施設で、原則として、管理費や運営費を利用者の負担で賄う施設です。

共同居住型の住まい（グループリビング）とは・・・

非血縁関係にある比較的元気な高齢者同士が自発的に自立支援や生活支援などを目的として、お互いの自由やプライバシーを尊重しながら食堂やサロンなどの共同生活の場を組み込んで各自が独立した住戸で生活するタイプと、仲間とともに一つ屋根の下で助けあって生活するタイプがあります。

問2 現在のお住まいや周囲の環境のことで困っていることがありますか。
 あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 家が狭い（部屋数が足りない 廊下や出入口が狭いなど）
- 2 家が広すぎる（部屋数が多く掃除が大変など）
- 3 玄関などに段差があり通りにくい
- 4 玄関や廊下、浴室やトイレなどに手すりがない
- 5 建物が古く台風や地震が怖い
- 6 家賃やローンが高い
- 7 日当たり・風通しが悪い、騒音がひどい
- 8 買い物や通院に不便
- 9 治安が悪い
- 0 困っていることは特にない

問3 あなたの住まいの地域には、地域のつながりがあると感じますか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | | |
|----------|---------|-----------|
| 1 とても感じる | 2 少し感じる | 3 あまり感じない |
| 4 感じない | 5 わからない | |

問4 この中に、あなたの住まいの地域で行われていることがありますか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 近隣同士でよく挨拶や立ち話をしている |
| 2 困ったときは近隣同士で助けあっている |
| 3 講や結（ゆい）など伝統的なつながりが残っている |
| 4 地域の回覧板・掲示板などがよく活用されている |
| 5 町内会・自治会・子ども会などの地縁団体の活動が活発に行われている |
| 6 公民館や集会所など気軽に集まれる場所があり、よく利用されている |
| 7 ボランティアやNPOの活動が活発に行われている |
| 8 行政が主催するイベントに住民が積極的に参加している |
| 9 学校等が実施している行事等に住民が積極的に参加している |
| 0 行われていることはない（よく知らない） |

安全・安心な暮らしについて、お尋ねします。

問5 あなたは、災害時（台風や地震等）に、一人で避難の必要性を判断し、避難場所まで避難することができますか。

あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|------------------------------|---------|
| 1 一人で避難の必要性を判断し避難できる | → 問7へ |
| 2 避難の必要性は判断できるが、一人では避難できない | } → 問6へ |
| 3 一人では避難の必要性を判断できないし、避難もできない | |
| 4 わからない | → 問7へ |

問6 問5で「2 避難の必要性は判断できるが、一人では避難できない」又は「3 一人では避難の必要性を判断できないし、避難もできない」と答えた方にお尋ねします。
災害時に避難するとき、近くに手助けを頼める人がいますか。手助けを頼める人がいる場合にはそれは誰ですか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|---------|--------------|
| 1 同居の家族 | 2 別居の子ども、親族 |
| 3 近所の人 | 4 自治会などの防災組織 |
| 5 民生委員 | 6 その他 |
| 7 いない | |

- 問7 あなたの住まいの地域における、一人暮らしの高齢者や認知症の方など援護を要する世帯への安否確認や見守り活動の状況について、どのように感じますか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- 1 十分に行われていると思う
- 2 どちらかといえば行われていると思う
- 3 どちらかといえば不十分だと思う
- 4 ほとんど行われていないと思う
- 5 わからない

- 問8 あなたは、将来の生活に不安を感じますか。
不安を感じる場合に不安を感じることはどのようなことですか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 自分や配偶者の健康や病気のこと
- 2 自分や配偶者が介護を必要とする状態になること
- 3 頼れる人がいなくなり一人きりの暮らしになること
- 4 生活費や老後の蓄えのこと
- 5 家屋、土地・田畑やお墓などの財産管理や相続のこと
- 6 家族・親族との人間関係のこと
- 7 隣近所、友人との付き合いのこと
- 8 子ども、孫などの将来のこと
- 9 だまされたり、犯罪に巻き込まれること
- 10 社会の仕組み（法律、税、社会保障、金融制度）や人々の価値観が大きく変わってしまうこと
- 11 不安は感じない

社会参加・生きがいについて、お尋ねします。

- 問9 あなたは生きがいをどの程度感じていますか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- 1 十分感じている
- 2 多少感じている
- 3 あまり感じていない
- 4 まったく感じていない
- 5 わからない

問10 あなたが生きがいを感じるのはどんなときですか。
あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 仕事に打ち込んでいるとき
- 2 趣味やスポーツ・レクリエーションに熱中しているとき
- 3 勉強や教養を高めるための活動に取り組んでいるとき
- 4 夫婦団らんするとき
- 5 子どもや孫など家族との団らんするとき
- 6 友人や知人と食事、雑談をしているとき
- 7 テレビを見たり、ラジオを聞いているとき
- 8 ボランティアや地域の活動をしているとき
- 9 旅行に出かけたとき
- 0 生きがいを感じることはない

問11 高齢者が地域のためのボランティア活動などに参加する上で、県や市町村はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。
あなたの考えにもっとも近いものに2つまで○を付けてください。

- 1 活動に関する情報をもっと提供する
- 2 参加しやすい体制を整備する
- 3 指導者の養成、活動者の確保のための機会を充実する
- 4 施設を利用しやすくする
- 5 活動のための施設を整備する
- 6 活動者のための保険制度を普及する（ボランティア保険）
- 7 資金的援助をする
- 8 取り組む必要はない

就労について、お尋ねします。

問12 あなたは、現在、収入を得られる仕事をしていますか。
仕事をしている場合には、一般論として、何歳ぐらいまで収入のある仕事をするのがよい
と思いますか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- 1 70歳くらいまで
- 2 75歳くらいまで
- 3 80歳くらいまで
- 4 働けるうちはいつまでも
- 5 仕事をしていない

問13 問12で「1～4」に○を付けた方にお尋ねします。
あなたが、収入のある仕事をしている理由はなんでしょうか。
あてはまる番号に3つまで○を付けてください。

- 1 生活費をまかなうため
- 2 生活費の不足をおぎなうため
- 3 将来に備えて蓄えをできるだけ増やすため
- 4 家業の後継者(子どもなど)を助けるため
- 5 おこづかいがほしいから
- 6 健康によいから
- 7 友達がほしいから
- 8 生きがいが得られるから
- 9 何もしないと退屈だから
- 10 その他
- 11 特に理由はない
- 12 わからない

介護保険について、お尋ねします。

問14 介護保険料は、3年に1度見直すことになっており、お住まいの市町村全体でどの程度サービスが必要かによって決まります。(サービスを利用する人の割合が増えたり、1人あたりの利用額が増えたりすると、保険料額は高くなる仕組みです。)
その上で、所得に応じて個々人の保険料額が決まります。

以上のことについてご存じでしたか。あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 よく理解している | 2 だいたい理解している |
| 3 あまり理解していない | 4 ほとんど理解していない |
| 5 わからない | |

問15 あなたは、これまでに、両親や配偶者などの家族(同居、別居を問いません)の介護を理由に、仕事を退職したり、休職したりしたことがありますか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|------------------------|---------|
| 1 仕事を退職した | } →問16へ |
| 2 仕事を休職した | |
| 3 仕事を休職したが介護が終わり復職した | } →問17へ |
| 4 仕事を退職したり休職したりしたことはない | |

問16 問15で「1～3」に○を付けた方にお尋ねします。
退職又は休職した年齢はいくつですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 20～29歳 | 2 30～39歳 | 3 40～49歳 |
| 4 50～59歳 | 5 60～69歳 | 6 70歳～ |

問17 あなたが仮に介護を受けることになった場合、どのような介護を受けたいですか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | | |
|--|---|-------|
| 1 自宅で家族中心の介護を受けたい | } | →問18へ |
| 2 自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせた介護を受けたい | | |
| 3 家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい | | |
| 4 有料老人ホームや高齢者向けの住宅に引っ越して介護を受けたい | } | →問19へ |
| 5 特別養護老人ホームなどの施設で介護を受けたい | | |
| 6 医療機関に入院して介護を受けたい | | |

問18 問17で「1～3」に○を付けた方にお尋ねします。
「在宅で介護を受けたい」と思う理由について、あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | |
|---|
| 1 家族と一緒に過ごしたいから |
| 2 友人・知人がまわりにいるので離れたくないから |
| 3 住み慣れた家を離れたくないから |
| 4 介護施設や有料老人ホームなどに入所、入居したいが経済的に困難だから |
| 5 介護施設や有料老人ホームなどに入所・入居したいが、希望する施設に空きがないから |

問19 今後、あなたが、仮に自宅で介護を受けることになった場合、誰に介護を頼みたいですか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 配偶者 | 2 子ども |
| 3 子どもの配偶者 | 4 兄弟姉妹などの親族 |
| 5 孫 | 6 ヘルパーなどの介護専門職 |
| 7 頼みたい人はいない | 8 わからない |

問20 あなたが最期を迎えたいと思う場所はどこですか。
あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 病院などの医療施設 | 2 自宅 |
| 3 子どもの家 | 4 兄弟姉妹など親族の家 |
| 5 高齢者向けのケア付き住宅 | 6 特別養護老人ホームなどの福祉施設 |
| 7 その他 | 8 わからない |

介護予防への取組について、お尋ねします。

問21 あなたは、「介護予防」という言葉を聞いたことがありますか。
いずれか1つに○を付けてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 聞いたことがある | 2 聞いたことがない |
|------------|------------|

問22 介護予防のための取組について、今後、県や市町村において特にどのような取組に力を入れてほしいですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 運動・転倒予防に関すること
(筋肉を使う運動、バランストレーニング、有酸素運動、ストレッチなど)
- 2 栄養改善に関すること
(低栄養状態や病気の予防のための食事内容や調理方法など)
- 3 口腔機能向上に関すること
(口腔の健康を保つための指導や摂食・嚥下機能(飲み込み)など)
- 4 閉じこもりの予防・支援に関すること
(居宅に閉じこもりがちな人に対し、交流の場の提供や地域における趣味やボランティア活動などへの参加を促すこと)
- 5 認知症の予防(早期発見)・支援(早期受診)に関すること
(認知症予防に関心のある人や軽度の認知障害のある人に対し、認知機能訓練や趣味活動等のプログラムを行うこと)
- 6 うつ病の予防・支援に関すること
(心の健康相談や訪問による個別支援等を行うこと)

認知症についてお尋ねします。

問23 あなたは、「認知症」について、不安なことや心配なことがありますか。不安なことや心配なことがある場合には、どのようなことですか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 自分のことで、最近「もの忘れ」があり認知症ではないかと心配である
- 2 家族のことで、最近「もの忘れ」が多くなるなど「おかしいな？」と感じるが、単なる「もの忘れ」なのか、認知症なのかわからない
- 3 自分や家族が認知症にならないか心配である
- 4 心配事を相談したくてもどこに相談したらよいかわからない
- 5 認知症になったときの対応や介護の仕方がわからない
- 6 その他
- 7 不安なことや心配なことはない

問24 あなたは、認知症の相談窓口を知っていますか。知っている場合、どの相談窓口を知っていますか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 地域包括支援センター
- 2 市町村
- 3 保健所
- 4 医療機関
- 5 認知症疾患医療センター
- 6 認知症の人と家族の会
- 7 その他
- 8 知らない

問25 あなたは、もし認知症と思われる方が近くにいたら、どのように接したいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- 1 ご家族に声をかけ相談にのる
- 2 民生委員に相談する
- 3 地域包括支援センターや市町村に相談する
- 4 どう接して良いかわからないので、特に何もしない
- 5 本人、家族が気の毒なのでそっとしておく
- 6 その他

高齢社会対策への取組等について、お尋ねします。

問26 高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らしていける地域づくりに向けて、県や市町村は、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものに3つまで○を付けてください。

- 1 高齢者の生きがいづくり・ボランティア活動など様々な社会活動への参加の促進
- 2 高齢者が生涯働き続けられる環境づくり（就労の場の確保、技術・技能・経験を活かした就労のあっせん、支援の仕組みづくり等）
- 3 健康づくり、介護予防や認知症予防のための取組
- 4 在宅での生活を続けられるような多様な福祉サービスや介護サービスの整備
- 5 特別養護老人ホームなどの施設サービスの整備
- 6 地域における見守り活動の促進
- 7 成年後見制度や高齢者虐待防止など高齢者の権利擁護
- 8 高齢者に対する犯罪（窃盗、詐欺等）や交通事故防止の対策
- 9 高齢者の身体が不自由になっても生活できる住宅の整備
- 0 高齢者の外出・利用に配慮した公共交通機関の整備や公共施設等（道路を含む）におけるバリアフリー化

調査は以上です。たくさんの質問にお答えいただき、ありがとうございました。

高齢者等実態調査
日常生活圏域ニーズ調査
集計分析報告書
【一般高齢者調査】

平成27年1月

発行 鹿児島県 介護福祉課

〒890-8577

鹿児島県鹿児島市鴨池新町10番1号

電話 (099) -286-2111 (代表)
